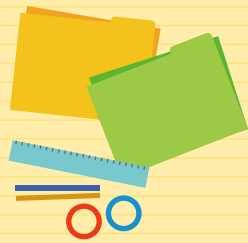
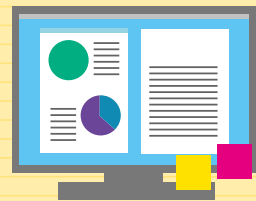


# ワーク・ライフ・バランス優良企業で働くお母さんたち 仕事と生活の配分は?



「出産後も仕事を続けたい」「仕事と育児を両立したい」。

働くお母さんが仕事と家庭を両立していくには、雇用する企業側の協力が欠かせません。

そこで叫ばれているのがワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)。

山形市でも社員のワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業が増えています。

そこで働くお母さんたちは、どのようにワーク(仕事)とライフ(生活)を両立しているのでしょうか。2つの企業を訪ねました。

ミドリオートレザー  
(山形市三社)

## 「お互いさま」が根付いたおおらかな社風



自動車の本革シートの加工で国内シェア1位を誇るミドリオートレザー。敷地内には本社をはじめ革加工の工場、研究所が並び、およそ600人が働いています。そのうちおよそ4分の1が女性。育児休業(以下、育休)の取得向上や、時短勤務の導入など、ワーク・ライフ・バランス推進への取組みが高く評価されています。女性社員の平均勤続年数が15年以上と長く、男性社員も違和感なく育休を取得しています。



専門職でも周囲の協力で私生活は犠牲になりません



技術職/阿部直子さん(36)

勤続13年目/勤務時間8時~17時/お子さん2人

技術職として、革製品の研究や実験を行っています。一人目を出産した時の育休復帰後は、「休んだ分、取り返さなきゃ」という思いもあり、出産前と同じように残業をしていました。しかし、**二人目を出産して育休から復帰した後は、残業をほとんどしなくなりました。周りに出産する女性社員が増えて、助け合う雰囲気がつくれたのが大きいですね。**



冬季は時短勤務妊活にも協力していただきました



事務職/寺崎裕子さん(39)

勤続10年目/勤務時間8時~17時/お子さん1人

私は自宅が市外で、特に雪道では子どもの送り迎えをしながら通勤するのが大変だったので、冬季だけ時短勤務(8時~16時)を活用させていただきました。春からは通常の勤務時間に戻しましたが、生活に合わせて柔軟に対応していただいています。また、**なかなか子どもを授かることができず悩んでいた時、上司に相談し通院の時間を頂くなどして会社からバックアップしていただき、無事出産することができました。**現在、子どもと幸せな日々を過ごしています。

会社にとってのワーク・ライフ・バランスとは?

総務部長  
加勢邦雄さん

良質な革素材を作り上げるには、皮ひとつひとつの特性やコンディションを見極める必要があります。その見極めは、機械によるものではなく、技術者の長年培った知識と経験によるものです。また、事務職であっても、会社の特性を理解して業務にあたっていただきたいと考えています。

社員にも一人ひとり、事情やコンディションがあります。社員の私生活も十分考慮に入れ、社員共々、会社として成長していきたいと考えています。

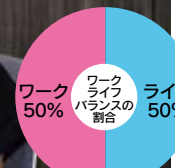
KDDI エボルバ  
(山形市みはらしの丘)

## 未来の働き方をクリエイト



従業員450名のうち70%が女性。官公庁や企業のコールセンター業務を多数請け負っているKDDI エボルバ。日中働くのは、契約社員の子育て中ママが多く、子どもの送り迎えや行事に合わせて時間を調整しながら働いています。子育てが落ち着いたら正社員になることも可能です。

また、同社が自社ビルでコールセンターを作ったのは山形が全国初。スタッフが快適に働くことができる環境を第一に考えた社屋のつくりは妥協がありません。社員食堂はカフェのような雰囲気。テラスからの蔵王の眺めも最高です!

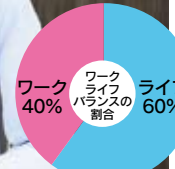


ライフスタイルに合わせて働けます

契約社員/中村美由紀さん(28)

勤続2年目/勤務時間9時~17時/お子さん2人

平日は、フルタイムでみっちり仕事をしています。ただし、夜や土日の勤務は難しいので、正社員になる希望は今のところありません。子どもたちがもう少し大きくなったら、考えてもいいですね。**「今月はもっと働ける」という時は、申し出ると勤務時間を延ばしてもらえることもあります。**

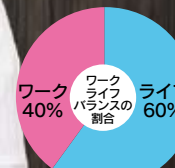


子どもが熱を出しても気兼ねなく相談できます

契約社員/松生愛さん(28)

勤続2年目/勤務時間9時~16時/お子さん3人

**子どもが急に熱を出しても、有給が使えますし、気兼ねなく相談できる雰囲気がとても良いですね。**コールセンターでは繁忙期の残業もありますが、強制されることがなく協力体制があるので、無理をする必要がない点もありがたいです。勤務時間なども3か月ごとにヒアリングがあり、必要があれば見直しができます。子どもの成長に合わせて調整していきながら、これからも働き続けたいと思っています



職場がストレス発散の場になっている

契約社員/海和恵子さん(39)

勤続2年目/勤務時間9時~15時/お子さん2人

仕事だけでなく、家庭や子どもとの関わりも大事にしたいので、15時までの勤務を選んでいます。コールセンターというと、ストレスの多い職場という印象がありましたが、そんなことはないですね。**同じ時間帯に働く仲間は、同じような環境を持つママさんなので、休み時間のおしゃべりが仕事や家庭の悩みを打ち明けられるストレス発散の場になっています。**

会社にとってのワーク・ライフ・バランスとは?

センター長  
岡本竜征さん

弊社は「未来の働くをクリエイトする」という意味の「ワークリエーション」という言葉を2020年のビジョンに掲げています。多様な働き方を認めて、全国に発信していくという想いを実現するため当センターをつくりました。

仕事と私生活を切り離して考えることはできません。スタッフにとって弊社で働くことが自己成長の一環になれば良いと思います。

【取材を終えて】

かつては「私生活を犠牲にしても、仕事を頑張らなければ」という風潮がありました。

職場にママさんが増えると、そうした雰囲気が変わっていくようですね。

今回出会ったママさんたち、仕事をとても楽しんでいるように見えました。

(編集協力員 渡邊園美)